

**団体名** 劇団海峡座 (下関市)

代表者名	武部 忠夫	団体の目的 ・地域文化の育成と向上 ・郷土文化遺産の再発掘 ・郷土の暮らしの舞台化により市民と感動を共有する
構成員数	17人	
設立	S28年8月	
問い合わせ先	☎083-232-3674 (事務所)	

**事業名** 地域活性化をめざす郷土文化遺産の共有事業

- 事業の目的**
- ・源平時代ゆかりの地域「下関」の文化遺産を次世代に伝える
  - ・シニア世代の経験と余力を地域文化の活性化にそそぐ

- 事業の内容**
- ・第10回記念公演 朗誦による劇的舞台「平家物語2幕12景」の公演  
日時：6月24日(土) 場所：下関市民会館中ホール(下関市)  
内容：「平家物語」の群読朗誦(第1幕は「祇園精舎」から「清盛の死去」、第2幕は「平家都落ち」から「壇ノ浦」)  
朗誦だけでなく、田村洋氏の特別編成楽器によるライブ演奏の音楽のほか、赤間神宮駅巻物やオリジナルのイメージ映像を組み合わせ背景に映し出し、観客を物語の世界に引き込む工夫を行った  
参加者：250人

- 事業の成果**
- ・朗誦による「平家物語」にふれて、自分達の町の眼前に流れる関門海峡の見方が変わった、深くなった
  - ・「ふるさと愛」を子どもや孫たちに伝えたいという、ふるさとに暮らす共有感、市民感覚を多くの人に広げることができた
  - ・今後も熟年の文化力を次世代につなげ、子どもたちと大人が共同作業できる機会を作っていきたい

**活動現場レポート!** 第10回記念公演「平家物語」 (H29.6.24/下関市民館中ホール)

観客のみなさんは、毎年恒例の公演ということで楽しみにされていた方も多かったようです。

内容は、平家物語から「祇園精舎」などの有名な場面を朗誦されるもので、1幕45分、15分の休憩をはさんで2幕公演されました。

出演者は50～70代が中心でしたが、小中学生も一緒に出演し、これまでの練習の成果を生き活きと発揮されていたのが印象的でした。

当会では、文化活動を通じてシニアと若者・子ども達をつなぐ役割を担っていきたいとのこと。今後も草の根の演劇活動を継続され、地域の文化力向上の原動力となっていきたいと思います。



朗々と唄う子ども達

